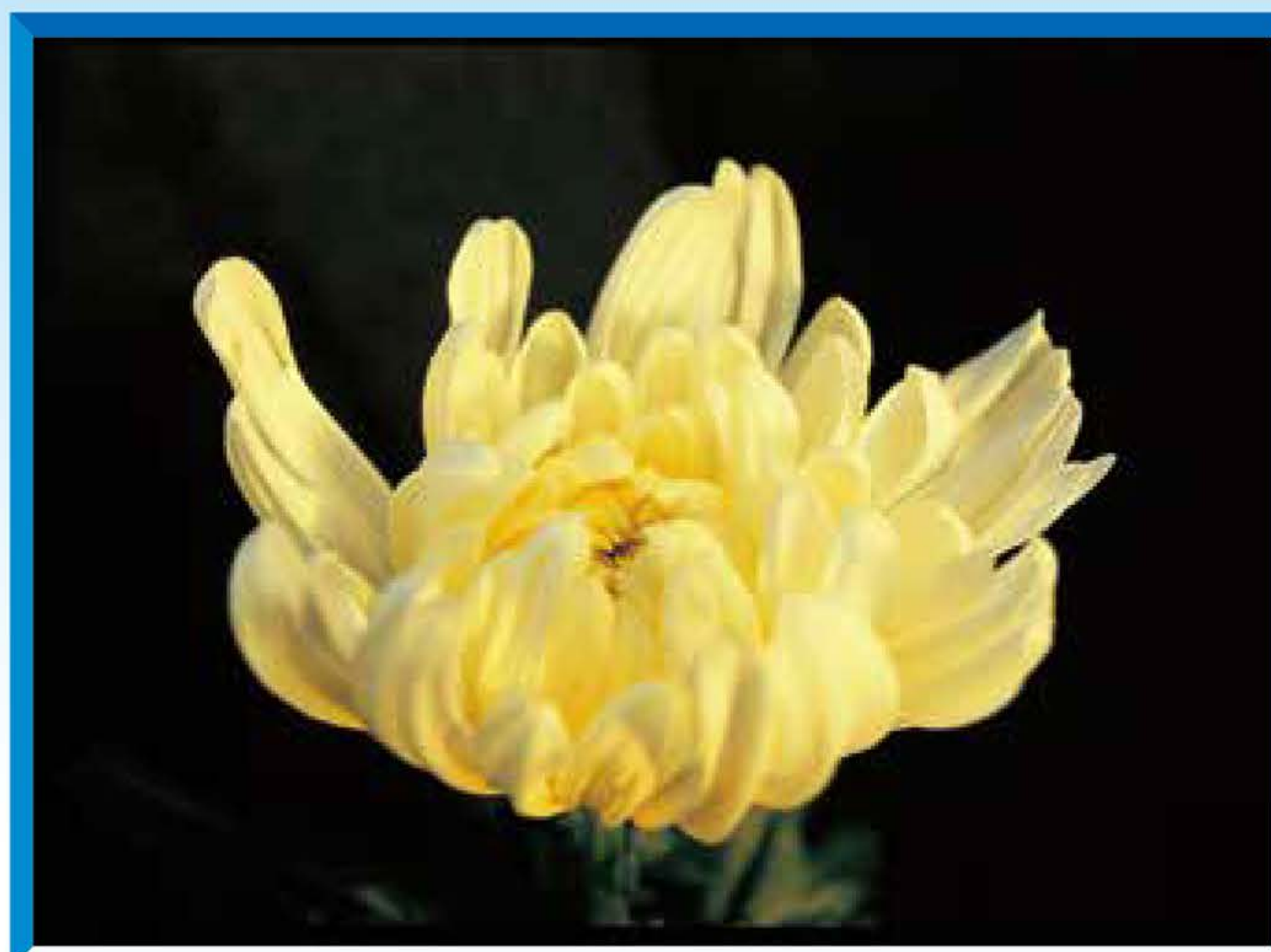
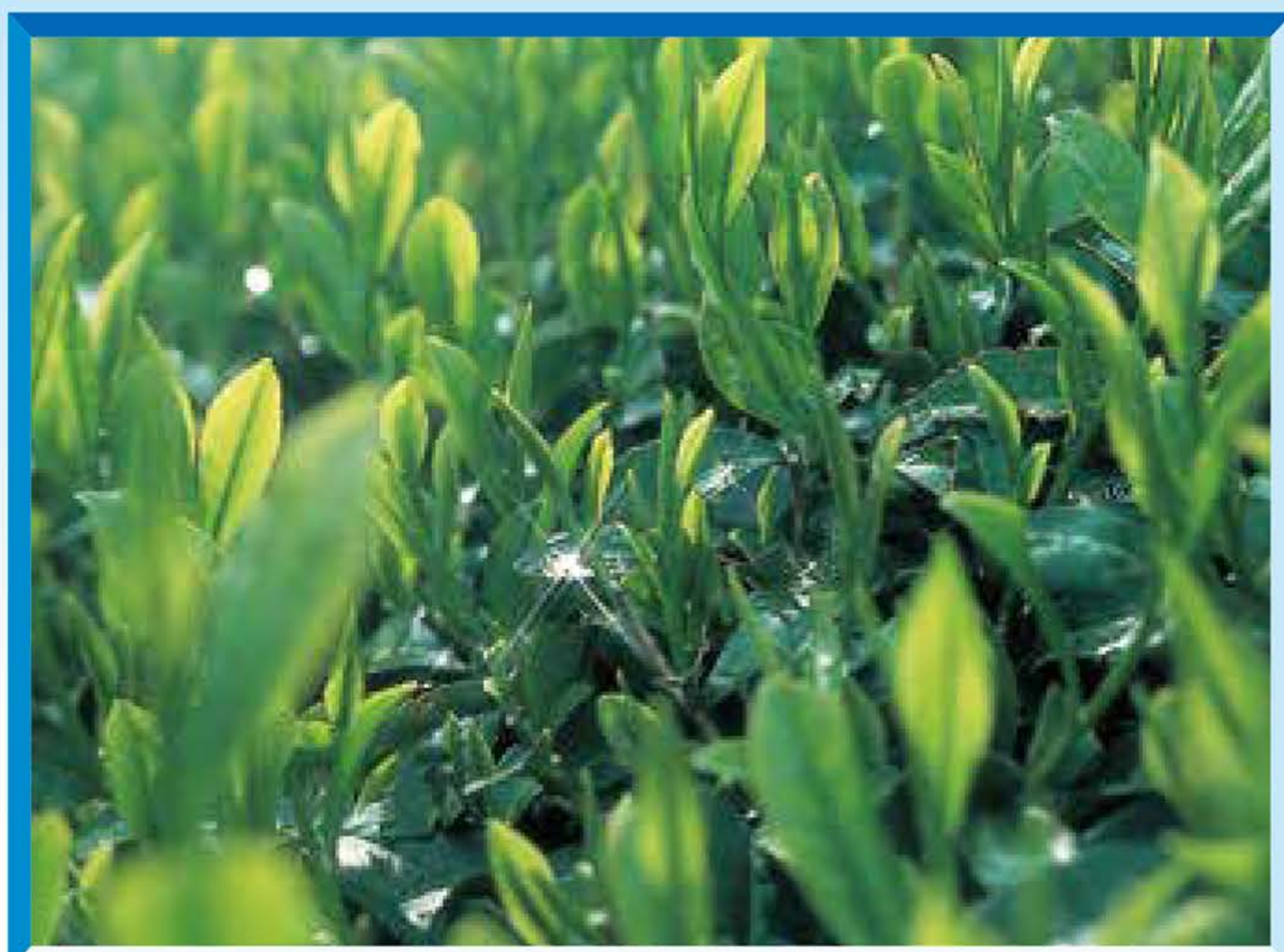


幅広い殺虫スペクトラムで害虫を同時防除



果樹・果菜・茶・花の害虫防除に！

テラスタ[®]フロアブル

農林水産省登録
第20844号

◎は米国FMC社の登録商標です。

★特長★

幅広い殺虫スペクトラム

果樹・果菜・茶・花のカメムシ類、ハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ、チョウ目害虫等に高い効果があります。

汚れが少ない

フロアブルで、しかも高希釈倍率なので、作物表面の汚れが目立ちません。

使用時期の幅が広い

収穫近くまで使用することができます。(果菜、りんご、かんきつなどでは収穫前日まで使用できます。)

薬剤調製が簡単

フロアブル化により、粉立ちがなく、薬液調製が簡便です。

★適用害虫と使用方法★

*印は本剤およびピフェントリンを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数*	総使用回数*		
りんご	シンクイムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ、アブラムシ類、ギンモンハモグリガ、ハダニ類、カメムシ類、ヨモギエダシャク	3,000	200~700	収穫前日まで	1回	1回		
かんきつ	カネタタキ、アブラムシ類	3,000~6,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内		
	カメムシ類、アザミウマ類、ミカンハモグリガ、ケシキスイ類、コアオハナムグリ、ミカンバエ成虫							
	チャノミドリヒメヨコバイ	6,000						
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	4,000		収穫14日前まで	1回	2回以内 (散布:1回以内、くん煙:1回以内)		
おうとう	ハダニ類	3,000~4,000		200~700	収穫前日まで	2回以内	2回以内	
	ショウジョウバエ類、カメムシ類							
すもも	シンクイムシ類	3,000						
もも ネクタリン	カメムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類	6,000						
	アブラムシ類	3,000						
なし	シンクイムシ類、ハマキムシ類、アブラムシ類、ハダニ類	3,000~6,000						
	カメムシ類	3,000						
キウイフルーツ	カメムシ類、クワゴマダラヒトリ	3,000			200~700	収穫前日まで	2回以内	2回以内
びわ・うめ	カメムシ類							
かき	チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ	3,000~6,000			200~700	収穫3日前まで	2回以内	2回以内
	カメムシ類							
トマト・ミニトマト	オンシツコナジラミ	4,000			100~300	収穫前日まで	3回以内	3回以内
なす	アブラムシ類、ハダニ類							
きゅうり	アブラムシ類							
エンサイ	オンブバッタ							
茶	チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ、チャノホソガ、ヨモギエダシャク	3,000	200~400		摘採14日前まで	2回以内	2回以内	
未成熟とうもろこし	ハダニ類	4,000	100~300		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ							
トルコギキョウ りんどう	ヒラズハナアザミウマ							
ばら カーネーション	ハダニ類							
きく	ミカンキイロアザミウマ	2,000	200~700	—	3回以内	3回以内		

使用方法：散布

*本内容は平成31年2月13日付の登録内容に基づいています。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は、2019年2月時点での知見に基づいて作成しています。

★使用上のポイント★

- 1.容器をよく振ってからご使用ください。
- 2.害虫の発生初期に散布してください。
- 3.ていねいに散布してください。(浸透性がないので、薬剤のかかりにくい葉裏にも十分散布してください。)
- 4.他剤とのローテーションで散布してください。(抵抗性回避のため、ピレスロイド系殺虫剤の連用はさけてください。)

⚠使用上の注意事項



- ・医薬用外劇物につき、取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。
- ・蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用をさけてください。
- ・本剤の散布の際に着用していた衣服は養蚕作業に用いるものと区別してください。
- ・本剤はごく低濃度でも水産動物に強い影響を及ぼすので特に注意してください。
- ・河川、湖沼、海域および養殖池に本剤が飛散・流入するおそれのある場所では使用しないでください。
- ・散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、周囲に影響のない地点を選定し、土壌表面に散布する等の処理を行い、容器等は、水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

※ミツバチ、マルハナバチに影響を与えるので十分注意してください。

ラベルを守って正しく使用しましょう!

適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう

石原は「食の安全」を大切にします



ホクレン



ホクサン株式会社

技術普及課 〒061-1111 北広島市北の里27番地4
TEL(011)370-2280 FAX(011)370-2113

1902TS